自治体名：愛知県春日井市

自動運転社会実装推進事業

最終報告書（公開版）

**【事業背景・目的】**

高蔵寺ニュータウンは、坂道が多く高齢化率も高いことから、自動車運転免許返納後の日常の移動に困る住民が急増することが懸念されており、自動運転移動サービスの実証実験を継続してきた。自動運転移動サービスは自動運転技術レベル2で提供開始されたものの、住民NPOメンバーやドライバーは高齢者が多く、今後の継続的なサービス提供には、自動運転レベル4の実現、自動運転技術のさらなる高度化による運行負担軽減とサービス改善が望まれており、運行負担軽減と安全性向上を目的として事業を実施した。

**【事業内容】**

自動運転レベル4に資する車両改造や遠隔監視システムに対応したカメラの設置やセンサー類の設置、オンデマンド型自動運転移動サービスに対応したリスクアセンスメントの手法検討、地域住民を対象とした受容性向上のための体験乗車会・出前授業を実施した。

**【検証項目・検証方法】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 検証項目 | 検証方法 |
| 経営面 | 採算性（運営費の試算） | 自動運転移動サービス利用者数  遠隔監視者の設置に伴う運営費の試算 |
| 事業の持続可能性（今後の継続意向） | 春日井市へのヒアリング |
| 技術面 | 安全性（遠隔監視システムの導入による運行負担軽減） | 遠隔監視による対応にかかる時間の変化 |
| 自動走行の割合 | 自動走行割合・手動介入発生回数 |
| 社会受容性面 | 自動運転移動サービスに対する印象 | 体験乗車会参加者へのアンケート |
| 自動運転車両に対する印象 | 体験乗車会参加者へのアンケート |

**【検証・分析結果】**

■経営面

採算性（運営費の試算）

・通年運行を実施している自動運転移動サービスの利用者は増加傾向（2023年度100人/月、2024年度111人/月、前年比11％増加）であることを確認した。

・今後、地域の高齢化率上昇による更なる利用者の増加と今後の横展開による費用軽減（自動運転制御システムや予約システム等のスケールメリット、遠隔監視による1対Nの監視）を図る計画であり、収益性が向上すると想定される。

春日井市の今後の継続意向の確認

・ヒアリングを行った結果、市として自動運転移動サービスに対して継続支援の意向があることを確認した。

■技術面

安全性

・遠隔監視の実証において、遠隔監視によるトラブル対応に必要な時間を計測した。その結果、特定運行主任者が春日井市でトラブル対応を行う時間より、保険会社が東京から遠隔監視によりトラブル対応を行う時間が短くなることを確認した。

・遠隔監視時の固有リスク（通信遅延等）の発生は確認されず、今回の条件では問題はなかった。

・遠隔監視によるトラブル対応時の課題（必要な情報、体制等）を把握した。

自動走行の割合

・L4想定区域内：自動走行割合は100％であった。

・L4想定区域外：想定ルート外を含めた自動走行割合は61%であった。

・手動介入は想定ルート内を走行時は27便中0回と発生しなかった。想定ルート外では3回発生した。

　※想定ルート外が発生した理由は体験乗車会時に家の前までの送迎を行ったため

■社会受容性面

自動運転移動サービスに対する印象

・体験乗車会参加者へのアンケート結果より、約79%の参加者が「ゆっくりカートを必要だと思う」「自動運転サービスに期待をしている」と回答した。

・約63%の参加者が「自動運転車両をこわいと感じない」と回答した。

・上記のとおり、自動運転移動サービスへ好印象を持つ人が多いが、利用者増加による採算性の確保も念頭に、更なる社会受容性の向上を図る必要がある。